

さとバスについて

資料 1

～暮らしを守り、みんなで支え、未来へとつなぐ持続可能な交通体系～



令和4年度第3回 富里市地域公共交通会議 資料
令和4年6月29日



運行概要

● 酒々井駅線

運行区間 市役所～JR・京成酒々井駅間
 運行本数 1日10便（片道1便）
 運行時間 6時台～15時台

● 富里バスターミナル線

運行区間 市役所～富里バスターミナル間
 運行本数 1日9便（片道1便）
 運行時間 7時台～15時台



運行に関する経緯

平成 14 年度	さとバス 本格運行開始 5ルート（根本名循環・高松循環・十倉循環・葉山循環・新橋循環）
平成 25 年度	第1次実証運行（H25.4.1～） ◆ J R 酒々井駅・富里 B T にルート拡大 ◆ 増便（7便→10便） ◆ 富里 B T を発着地点とする循環型運行 第2次実証運行（H25.10.1～） ◆ 夕方の便を昼間の時間帯に変更 ◆ 停留所の追加（2箇所）
平成 26 年度	第3次実証運行（H26.4.1～） ◆ 停留所の追加（1箇所） 第4次実証運行（H26.10.1～） ◆ 循環型から酒々井駅線と富里 B T 線の 2 ルートへ再編 ◆ 京成酒々井駅への接続
平成 27 年度	本格運行（H27.4.1～） ◆ 南平台ルートの変更 ◆ 富里 B T 線第2便のダイヤ変更 ◆ 増便（富里 B T 線：8便→9便）
平成 28 年度	◆ 停留所の追加（H28.10.3～） 「福山通運前」停留所
令和 2 年度	◆ 停留所の移設（R2.5.11～） 「新橋公民館」停留所（富里BT線）



■ さとバスの見直しの判断について

- 平成14年の供用開始以来、市民の移動手段の確保をしてきましたが、供用年数は20年となり、走行距離数は約70万キロとなっています。

➡ 車両の更新時期

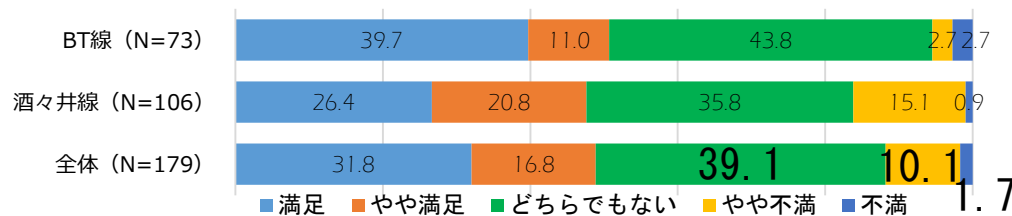
- さとバス利用者は減少傾向かつ極めて少なく（1便の利用者は平均2人以下）収支率は1割となっています。

➡ 持続性の危機

- 令和3年度に実施した、大規模な市民アンケートで、市民の移動ニーズの多様化や、ニーズに合っていない現状や高齢化への対応などの課題を解決するため、公共交通利用者等のニーズ結果を踏まえ、令和4年10月1日から、「さとバス」を新たなデマンド交通に転換し、
更なる移動手段の充実を図ります。

※ 令和3年度実施：公共交通に関する市民アンケート

【さとバスを利用している方の満足度】



【さとバスの廃止について】

